

2022年度事業報告書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

特定非営利活動法人
マルイ・エンゲージメントキャピタル

1 事業実施の成果

2022年度は、新型コロナウイルス第7波・第8波蔓延のあおりを受けた部分もありましたが、昨年確立したオンラインイベントを始め、少人数のイベントから手指消毒・検温・抗原検査実施など感染対策を講じながら運営して参りました。

特定非営利活動を行うための事業につきまして以下ご報告申し上げます。

【2022年度会員内訳】

正会員（団体） 39名、正会員（個人） 21名 合計 60名
賛助会員（団体） 21名、賛助会員（個人） 0名 合計 21名 総合計 81名

【組織運営における重点項目】

① 事業活動における財源の安定確保

Ziba Platform 1F ポップアップ継続入居 R4/3月～「デジタル文化教室 NaN様」

② 教育機関との連携強化（津山市内公立4校連携講座他）

③ 専従人材の育成による事業活動の活発化と法人としての独立性の確保

R4/3月～ パートナー雇用（1名）

2 事業の実施に関する事項

定款の事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額（千円）
まちづくり推進活動団体への支援事業及び多様な主体との協働に付随した広報事業①	鳥取県における、生産者との消費をつなぐ食のイベントの開催 とっとり GOOD FOODMARKET MARUCOLLA	11/5、11/6	鳥取市	50名	15,000人	マルイ食育と共催
まちづくり推進活動団体への支援事業及び多様な主体との協働に付随した広報事業②	・美作大学短期大学部、津山東高校とのお弁当共同開発 ・津山市内公立高校4校『地域創生学』 ・津山東高校『行学・地域未来創造会議』	2022年4月～ 2023年3月	津山市	3名	500名	マルイ食育と共催

コミュニティデザインに関する事業①	共創プラットフォームを拠点とした人材ネットワーク形成と交流の促進（タウンキッチンの企画運営、SDGs 取組の発信 ※津山市委託事業	2022年4月～ 2023年3月	津山市	4名	752名	210
コミュニティデザインに関する事業②	商品開発、セミナー、ワークショップ、フードイベントなど交流事業の実施及びSDGs情報発信	2022年4月～ 2023年3月	津山市	4名	163名	171
コミュニティデザインに関する事業③	共創プラットフォームの活用（ライブラリー利用、シェアスペース、シェアオフィス、POP UP） ※津山市委託事業	2022年4月～ 2023年3月	津山市	4名	1,647名	68
次世代育成を目的とした各種体験事業	アグリツーリズム、中山間地域での体験事業 イベント名 ① オンラインスパイス&ハーブ自由研究 ② オンライン酪農体験 in 大山町～牛の秘密を学ぶ ③ オンラインお家でパーティ シェア気分ハロウィンお菓子教室 ④ お米について学ぶ出張授業 しらゆり幼稚園	① 5/29 ② 10/22 ③ 10/29 ④ 4月～11月	①津山市 ②大山町 ③津山市 ④津山市	6名	161名	マルイ食育と共催
小学校の活動支援を目的とした寄附付き商品事業	生産者、地域団体および食品関連事業者との協働による寄附付き商品の開発、販売を通じた地域貢献活動	2022年4月～ 2023年3月	岡山県 鳥取県	9名	30,000名	14,579

コミュニティデザイン推進事業①、③について、津山市より事業委託（委託費 770千円）

寄附付き商品事業の金額は各教育委員会、小学校に案内した金額

【まちづくり推進活動団体への支援事業について】

住民参加型の定期的なイベント開催で賑わいと交流の創出により地域住民との繋がりを深め、地域に貢献する目的を達成することができました。

津山市立図書館の本の貸出しを行う「まちライブラリ」は、津山および周辺の市町村の方々に親しまれ、貸出件数は580件にもものぼり、前年比151%となりました。

社会情勢に沿いながら11月には3年ぶりに岡山・鳥取における食のイベント『2022とっとりGOOD FOODMARKET MARUCOLLA』の開催ができ、15,000人の参加で賑わい、多くの方に喜んでいただくことができました。

津山和っしょいでは着替えの場所・飲料の提供を行い、雨の中津山を盛り上げるため踊る皆さんの支援ができました。

定期的開催のイベントも応募者はいつも定員を上回り、魅力あるイベントに育っています。



常時 400 冊の貸出を行うライブラ



鳥取・岡山食のイベント・マルコ



和っしょい協賛

【コミュニティデザインに関する事業について】

拠点施設『Ziba Platform』からイベント企画・実施を中心に、人流を分析して安全に配慮しながら稼働率を高め、財源の安定確保への取り組みをさらに一歩進めました。

地域の方々へのリサーチにより、多くの方に興味を持って活動に参加していただけるよう、著名な方の講演、SDGs パネル展示、夏至と冬至に全国的な環境へのアプローチ事業「キャンドルナイト」への参加も行いました。

- ① フードマイレージに配慮した地産地消推進『Ziba なぎビーフカレー』の販売を継続。購入客への説明により、SDGs 脱炭素社会へのマルイ・エンゲージメントキャピタルの姿勢を認知していただくことができました。◆販売回数：35回 213食
また、継続してレインフォレストアライアンス認証の珈琲豆を地元焙煎所（ラブリーハロー：津山市小原）と提携して、挽きたてでご提供する Ziba 珈琲も好評をいただいています。 ◆販売数 445 杯
- ② オンライン形式で開催した哲学カフェも 2022 年度は 29 回目を迎えました。海外からの参加もあり、6 回開催 75 名が参加しました。3 月開催のものはまちの変遷と人々の多様性を考える『哲学カフェ×SDGs コンパクトシティとダイバーシティ』のタイトルで、岡山大学学術研究院環境生命科学学域（大学院環境生命科学研究科）氏原岳人准教授にご講演をいただき、参加者からも続編を企画して欲しい等の喜びの声が聞かれました。
- ③ 新企画として、歴史・教育・文化・環境・行政など、様々な切り口から学び、話し合い、津山の未来を考える会 SDGs Meeting を特定非営利活動法人マルイ・エンゲージメントキャピタルの活動拠点『Ziba Platform』にて 6 月の『津山城の魅力について』を皮切りに 8 月『子どもたちに何ができるか』、11 月『津山市の財政』、12 月『議会ってどんなところ？』3 月の『聴覚障害と手話言語』までに津山市内の 51 名の参加があり、地域の方々とも活発な意見交換の場を提供できるようになりました。
有識者・学生も巻き込んで多様な人材によるネットワークが形成されつつあり、拠点施設である「Ziba Platform」の利用者は 2022 年度 1647 名、昨年度比 176% となり、ア

フターコロナを見据えた活動が実を結びつつあります。



フードマイレージを考慮した地産地消なぎビーフカレーは予約で完売する日も。



哲学カフェの様子。日本国内のみならず、海外からも定員を上回る応募があります。



SDGsMeeting では八王子なかよし幼稚園園長清水弘美様・元津山市未来戦略ディレクター榎田竜路様をお迎えしました

【次世代育成を目的とした各種体験事業】

津山を中心とした中山間地域で、子どもたちが経験や他者とのかかわりから学びを得ることでのちや大自然、自分たちを取巻くものへの感謝の心を育み、生きる力を身につける取り組みとして、体験型、交流型のイベント『エコキャンプ』を新庄村・阿波村で予定していましたが、コロナ第8波で中止となりましたが、代替策の親子で参加出来るオンラインの環境体験や食農体験を実施。直接体験型事業としては、幼稚園への出張授業を行いました。

津山市役所障害福祉課との連携では、中高生に障害についての理解を深め手話の浸透を図るイベント開催を行うことができました。



鳥取大山町山下ファーム様のご厚意により、牛の乳しぼりなど、子どもたちにオンラインで酪農体験をしてもらいました。



しらゆり幼稚園での出張授業
仁木様のご協力により、6月のお米の勉強から10月の稲刈り体験までを子どもたちと一緒にしました。

【多様な主体との協働に付随した広報事業】

① 【美作大学・美作短期大学、鳥取短期大学生活課、津山東高等学校との取組み】

「地産地消」「健康増進」をテーマにお弁当の協働開発を通じて企業と学生との定期的な交流により地元企業や地域に関心を高めることで、次世代を担う世代の質向上、社会構造を学ぶ場の提供ができました。

② 【津山市内公立4校連携講座：津山高校、津山工業、津山商業、津山東高校】

2022年度も『地域創生学』として、次世代を担う高校生を対象に地域貢献活動の一環

として企業講師を派遣、地元企業との繋がりの中で地域の課題を知り、考え、提案する場を設けました。また、岡山県教育委員会「おかやま高校生地域未来創造事業」の指定高となっている津山東高校にて実施の「地域未来創造会議」へ委員を派遣し、中山間地域における課題を自らの課題と捉え、将来的に地域で貢献活躍する人材育成事業にも貢献しました。

- ③ 起業支援として「デジタル文化教室 NaN」様の世代を超えた文化教室の起業のサポートを行いました。



美作大学短期大学との共同開発プロジェクト。3品に大豆ミートを使用して食物繊維がとれるベジ BENTO を開発・販売しました。

市内4校連携講座「地域創生学」

【小学校の活動支援を目的とした寄附付き商品事業】

地域商材活用の6次化商品・機能性特化商品などの寄附付き商品1品につき3円を各地区単位で半年毎に小学校への活動資金として助成する活動も、2022年度は15期・16期の贈呈を行うことができました。ホームページ上にて、寄附付き事業に参画いただいているメーカー様をご紹介することで、利用者様への認知度を高めるとともに、新たに参画いただけるメーカー様の募集にもつながり始めています。



津山市への贈呈式

防犯ブザー寄附（津山市・真庭市）

プログラミング教材活用（鳥取市）

<寄附付き商品第1回～15回贈呈寄付金額（予定含む）千円>

●米子市を中心とした鳥取西部地区/2015年4月1日～	寄付金額	12,334		
●倉吉市を中心とした鳥取中部地区/2015年3月13日～	寄付金額	6,130		
●鳥取市を中心とした鳥取東部地区/2015年4月1日～	寄付金額	29,398		
●津山市を中心とした岡山県北部 /2015年5月1日～	寄付金額	32,538		
●岡山市 /2015年6月1日～	寄付金額	2,252		
寄附付き商品贈呈	累計金額	合計	81,533	千円

【SDGsの取り組みについて】

地球環境の為、持続可能な取り組みのひとつの事例として本年度からペーパーレスに向けた取り組みを実施しております。

具体的には、定款を変更し総会・理事会の案内文や資料などを郵送ではなく電磁的方法（メール・FAX）で発信できるように変更いたしました。

その結果として年間約2,000枚の紙削減につながっています。

郵送による往復の時間ロスもなくなり、今後は一層、連絡・報告のリアルタイム性が向上し、役員、会員の皆さまとより一体感のある活動に期待が膨らみます。